

2025 年 9 月 9 日
古河機械金属株式会社

ロックドリル部門：中学生のキャリア教育を支援し工場見学会を実施

当社（東京都千代田区、社長：中戸川 稔）は、このほど、中学生のキャリア教育支援を目的に、当社グループの中核事業会社で、ロックドリル部門を担う古河ロックドリル株式会社（東京都千代田区、社長：山口 正己）の吉井工場（群馬県高崎市）において、高崎市内の中学生の計 40 名を対象に工場見学会を実施しました。



工場見学参加者

工場見学会について

今回の工場見学は、高崎商工会議所主催、高崎市教育委員会後援の市内企業見学ツアーとして、将来の夢に向かって頑張る中学生を応援するために実施したものです。当日は、吉井工場にて、工場概要説明、ロックドリル製品の生産工程見学ならびに質疑応答などを行いました。

当社グループでは、地域で学ぶ生徒のキャリア教育支援を目的として、業界および職業研究や、将来のキャリア形成の一助となる機会の提供に、引き続き取り組んでいきます。



油圧クローダリル見学の様子



トンネルドリルジャンボ見学の様子

【補足資料】

■ 古河ロックドリルの主要製品

1. 油圧ブレーカ

油圧ショベルのアタッチメント製品で、岩盤の掘削、岩石の小割、コンクリートの破碎などに使用されています。様々なニーズに対応するため基礎解体や岩盤掘削用の超大型ブレーカまでラインナップし、更に環境に配慮した超低騒音ブレーカも取り揃え、約 40%の国内シェアを有しています。



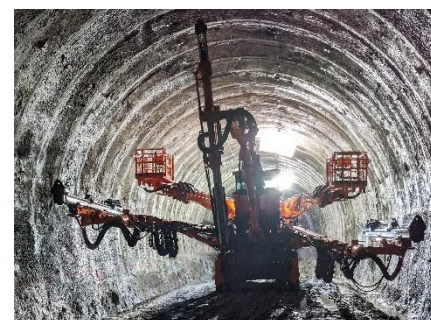
2. 油圧クローラドリル

発破用火薬を装填する下向きの孔を岩盤にあける自走式機械で、国内外の碎石場、石灰鉱山等の露天掘り現場で使用されるほか、岩盤掘削の多い海外では道路や建物の整地工事等でも使用されています。約 70%の国内シェアを有しています。



3. トンネルドリルジャンボ

山岳トンネル工事現場の最先端である切羽で発破用火薬を装填する孔を掘る機械です。国内の道路や鉄道の山岳トンネルのほとんどで使用された実績があり、現在もりニア中央新幹線や北海道整備新幹線等の長大トンネル工事で活躍しています。約 80%の国内シェアを有しています。



■ 参考動画

・「MADE by FURUKAWA ロックドリル部門 | 油圧クローラドリル編」

油圧クローラドリルが完成するまでの工程や従業員の働く姿を撮影し、従業員インタビューとともに、行っている業務内容や仕事へのこだわり、自社技術の強み等を紹介する動画はこちらをご覧ください。

<https://youtu.be/7EbtLeN6RTE>

・「【社会課題を解決】巨大重機・ドリルジャンボでトンネル掘削編 | 古河機械金属 PV」

<https://youtu.be/1tDy0vfi2So>

■ 会社概要

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 3 部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業 3 部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875（明治 8）年 8 月

設立：1918（大正 7）年 4 月

資本金：282 億 818 万円

従業員数：〈連結〉2,908 人 〈単独〉205 人 [2025 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河ロックドリル株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：山口 正己

事業内容：1914 年、国産初の手持ち式さく岩機の開発が始まりで、現在はさく岩機のトップメーカーとして、油圧ブレーカ、油圧クローラドリル、トンネルドリルジャンボなど、インフラ整備、鉱山開発に不可欠なさく岩機の製造・販売を行っています。

設 立：1961（昭和 36）年 6 月

資 本 金：4 億円

従業員数：524 人 [2025 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawarockdrill.co.jp/>



強みの「ドリフタ」をコアコンピタンスとして共通の旗印に掲げ、キャッチコピー「KEEP THE BEAT!!!」を設定し、強靱な組織を目指しています。